

平成 17 年 12 月 2 日

図書館情報専門学群学生各位

図書館情報メディア研究科教育・研究支援委員会
システム管理グループ

メインコンピュータシステムから教育用等計算機システムへの移行について

メインコンピュータシステム（以下、メインシステム）は今年度末（2006 年 2 月末）に更新を迎えます。既にお知らせしているように、今回の更新から学術情報メディアセンターが全学に提供している教育用計算機システム（以下、教育用システム）を、学群教育用に使うことになりました。

メインシステムのユーザ名とメールアドレスはメインシステム終了と共に使用できなくなります（正確な日時は後日広報）。新システムでは、教育用システムのユーザ名（s+学籍番号下 7 桁）を使用して端末にログインし、同システムのメールアドレス（ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp）を使います。なお、教育用システムのユーザ名はマルチメディア計算機システムのユーザ名と同じですが、パスワードが異なります。

このお知らせでは、メインシステムから教育用システムへの移行手順を説明します。混乱を避けるため、メインシステムから現行の教育用システムへの移行（来年 2 月まで）、現行教育用システムから新教育用システムの移行（3 月）の二段階で移行をしていただきます。

第一段階（現行教育用システムへの移行）でお願いする作業

アカウントの配布と初期パスワードの変更

- ① 教育用システムのアカウントとパスワードを 12 月 2 日（金）から春日ランチで配布します（要、学生証）。即日利用可能であり、最初のログインは、別紙の手順 I のように行って、必ず初期パスワードを変更してください。

<http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/ch-passwd.html>

電子メール

- ① まず、メインシステムから新メールアドレスにテストメールを送信し、Webブラウザで<https://wmail.ipe.tsukuba.ac.jp/activemail/login/> にアクセス（教育用システムのユーザ名とパスワードを入力してログイン）して、メールが正常に受信できていることを確認してください。
- ② いままで、メインシステムから別アドレスへのメール転送を行っていた人は、教育用システムでメール転送を設定し直してください（別紙 手順 II）。
- ③ 自分自身でメインシステムのメール転送先を教育用システムに設定してください（別紙 手順 III）。
- ④ メインシステムのメールフォルダを現・教育用システムのメールフォルダにコピー

してください（別紙 手順 IV）。（POP 接続で利用している人は、この操作は必要ありません）コピーを作成しなかった場合、メインシステムの停止時点で、メールフォルダは失われます。

Web サーバ

- ① 現在の URL (<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~メインユーザ名/>) は、新サーバへの切り換え時から無効となります。なるべく早期に教育用システムの Web サーバに移行してください（別紙 手順 V 後半）。教育用システムの URL は <http://www.ipe.tsukuba.ac.jp/~教育用ユーザ名/> です。公開のための申請は必要ありません。
- ② 現 Web サーバのコンテンツ（/www 以下のファイル）は現 UNIX サーバの停止時に削除されます。

ユーザデータ

- ① UNIX サーバ(uni)のユーザファイルは uni の停止時に削除されます。保存が必要な人は自分自身でコピーを作成してください（別紙 手順 V 前半、ただしこの手順では uni の初期設定ファイル群（ピリオドで始まるファイル・フォルダ）はコピーしません）
- ② Windows サーバ(toro)のユーザファイルは toro の停止時に削除されます。保存が必要な人は自分自身でコピーを作成してください（別紙 手順 VII）
- ③ アプリケーションの諸設定（ブックマーク、アドレス帳など）の移行に関しては、各アプリケーションのヘルプ等をご覧ください

メインシステムと教育用システムの相違点

		メイン	教育用
筑波大 入学者	学籍番号	入学年 4 桁+部局 2 桁+連番 3 桁 例：200313012	
	ユーザ名	英字 1 字+学籍番号下 3 桁 大学院生は任意のユーザ名 例：p012	s+学籍番号下 7 桁 例：s0313012
	メールアドレス	ユーザ名@slis.tsukuba.ac.jp 例：p012@slis.tsukuba.ac.jp	ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp 例：s0313012@ipe.tsukuba.ac.jp
図情大 入学者	学籍番号	入学年 4 桁+連番 3 桁 例：2002012	
	ユーザ名	英字 1 字+学籍番号下 3 桁 大学院生は任意のユーザ名 例：m012	u+学籍番号 例：u2002012
	メールアドレス	ユーザ名@slis.tsukuba.ac.jp 例：m012@slis.tsukuba.ac.jp	ユーザ名@ipe.tsukuba.ac.jp 例：u2002012@ipe.tsukuba.ac.jp

	メイン	教育用
パスワードの寿命	17 週 (119 日)	180 日
ファイルのアクセス権限 (初期値)	本人のみ (umask 077)	全員読み取り可 (umask 022)
ファイルのクォータ	UNIX 400MB Windows 700MB Web 120MB メール 300MB	全体で 500MB (本来, 現システムの制限は 100MB だが, 図情学生用に特別枠を設定)

別紙

1. 最初のログインとパスワードの変更

来年の3月までは春日地区に教育用システムの端末が配置されていないため、ログインやパスワードの変更は、すべてSSHでログインしたUNIX環境で行います。uniまたはtoroからsshで教育用システムのサーバ(icho.ipe.tsukuba.ac.jp)にログインします。パスワードは6文字以上8文字以内で、2文字以上の英字と1文字以上の数字を含めてください。

1a. uniで接続する方法：

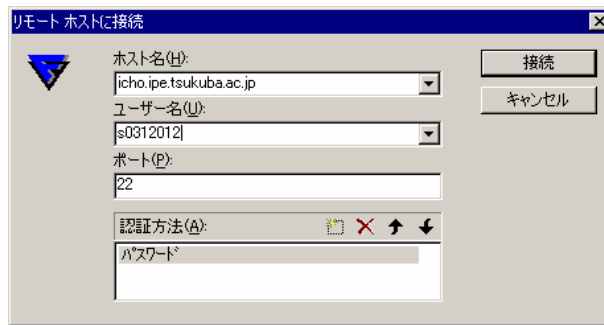
- ① sshでichoに接続
ssh -l 新ユーザ名 icho.ipe.tsukuba.ac.jp
- ② sshのホスト鍵が登録されていない旨の警告が表示されるので、以下の例のfingerprintと同じであることを確認して、「yes」と入力してreturnキーを押す
- ③ 通知用紙の初期パスワードを入力してreturnキーを押す
- ④ パスワードを変更するため、「passwd」と入力してreturnキーを押す
- ⑤ 最初に初期パスワードを入力してreturnキーを押す
- ⑥ 次に新しいパスワードを入力してreturnキーを押す
- ⑦ もう一度新しいパスワードを入力してreturnキーを押す
- ⑧ 変更成功すると「Password changed for user ユーザ名」と表示される

操作例 (s0313012は架空のユーザ名。自分のユーザ名に置き換えて入力すること)

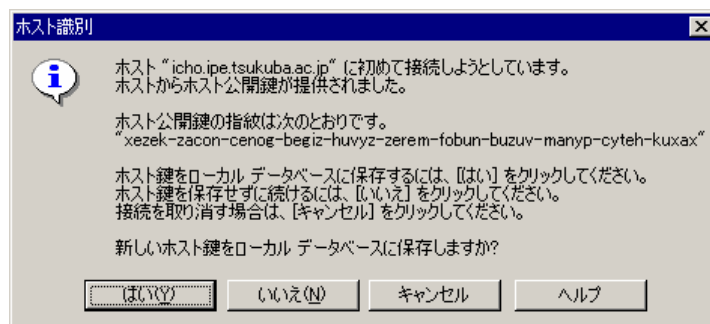
```
tosimori@uni% ssh -l s0313012 icho.ipe.tsukuba.ac.jp ←①
The authenticity of host 'icho.ipe.tsukuba.ac.jp (130.158.65.1)' can't be
established.
RSA key fingerprint is 04:c8:e8:00:be:f2:b4:8a:45:ab:8d:b0:ac:20:d0:a0.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes ←②
Warning: Permanently added 'icho.ipe.tsukuba.ac.jp,130.158.65.1' (RSA) to the
list of known hosts.
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: ***** ←③ (*は表示されません)
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.7 Generic October 1998
Your Terminal is vt100(3).
icho% passwd ←④
Old SMB password:***** ←⑤
New SMB password:***** ←⑥
Retype new SMB password:***** ←⑦
Password changed for user s0313012 ←⑧
icho%
```

1b. toroで接続する方法：

- ① スタートメニューから「プログラム」→「F-Secure SSH クライアント」→「F-Secure SSH クライアント」を選択する
- ② 「クイック接続」ボタンをクリックする
- ③ 「ホスト名」に「icho.ipe.tsukuba.ac.jp」、ユーザ名に教育用システムのユーザ名を入力し、「接続」ボタンをクリックする



- ④ ホスト公開鍵の指紋が表示されるので、下図と比べて同じであれば「はい」をクリックする



- ⑤ パスワードを入力する
⑥ icho にログインするので、以後は Ia の④以降と同様

II. 教育用システムでのメール転送の設定

- ① Webブラウザで<https://mail.ipc.ulis.ac.jp/forward/> にアクセスする。
- ② 「ユーザ ID」にメインシステムのユーザ名、「パスワード」にメインシステムのパスワードを入力して、「取り込み」にチェックを入れて、「実行」ボタンをクリックする。
- ③ 「転送設定は行われていません」と表示されたら、転送していないので作業終了。「メール転送先」が表示されたら、転送先のアドレスを間違えないようメモする。その際、画面上部の設定例も良く読んで、自分の設定内容を理解しておくこと。
- ④ ssh を使って icho にログインする（方法は I を参照）
- ⑤ echo コマンドを使って転送用設定ファイル（.forward）を作成する
echo "転送先メールアドレス" > .forward[return]
- ⑥ cat コマンドで.forward の内容を表示させて、設定が正しいことを確認する
- ⑦ ここで必ずテストメールを送信して、正しく転送先にメールが届くか、しばらく待ってもエラーが発信元に返送されないかの二点を確認する（混乱を避けるため、テストメールの発信元は転送先以外のメールアドレスにすること）。

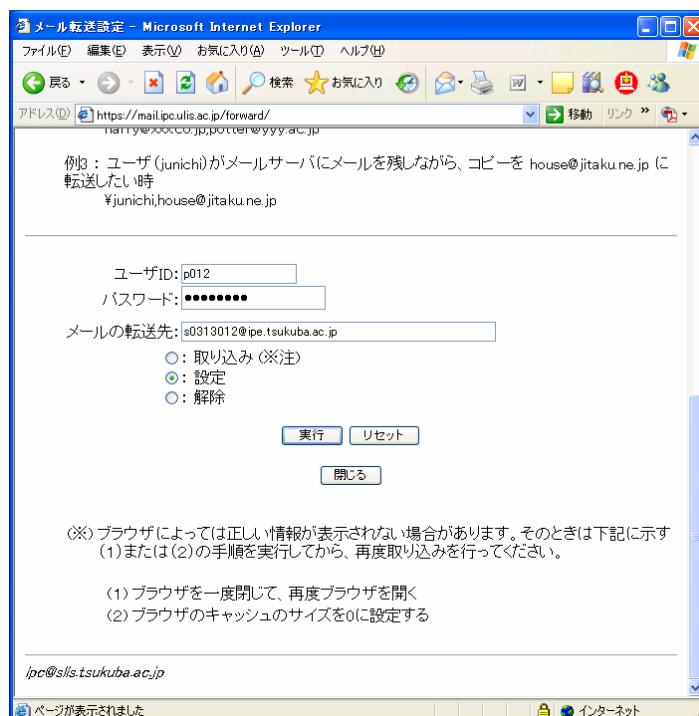
お願い：絶対にメインシステムへの転送は設定しないでください。（新メールサーバの導入時に教育用システムへのメール転送を設定します。この時に問題を起こします。）

転送の設定例(サーバにメールを残さず, kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp へ転送する):

```
Last login: Tue Nov 29 22:58:00 2005 from 133.51.16.237
Your Terminal is vt100(7).
icho% echo "kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp" > .forward
icho% cat .forward
kasuga.taro@home.anywhere.ne.jp
icho%
```

III. メインシステムから教育用システムへのメール転送の設定

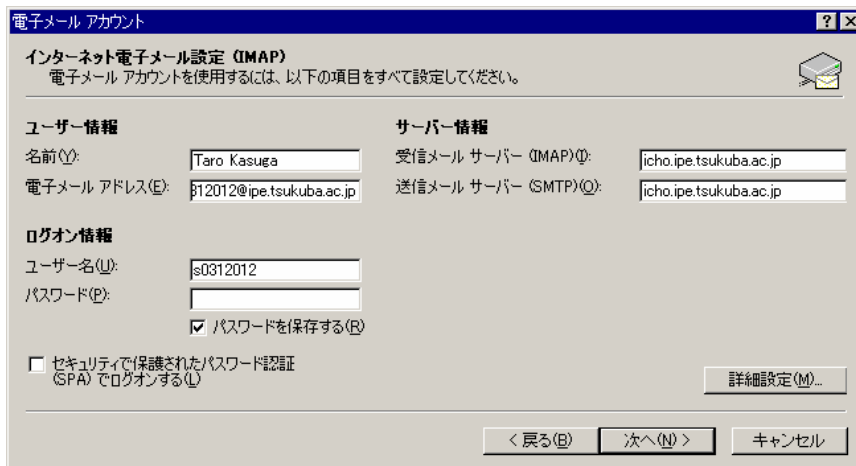
- ① Webブラウザで<https://mail.ipc.ulis.ac.jp/forward/> にアクセスする.
- ② 「ユーザ ID」にメインシステムのユーザ名, 「パスワード」にメインシステムのパスワード, 「メールの転送先」に教育用システムのメールアドレスだけを入力し, 「設定」にチェックを入れて, 「実行」ボタンをクリックする.



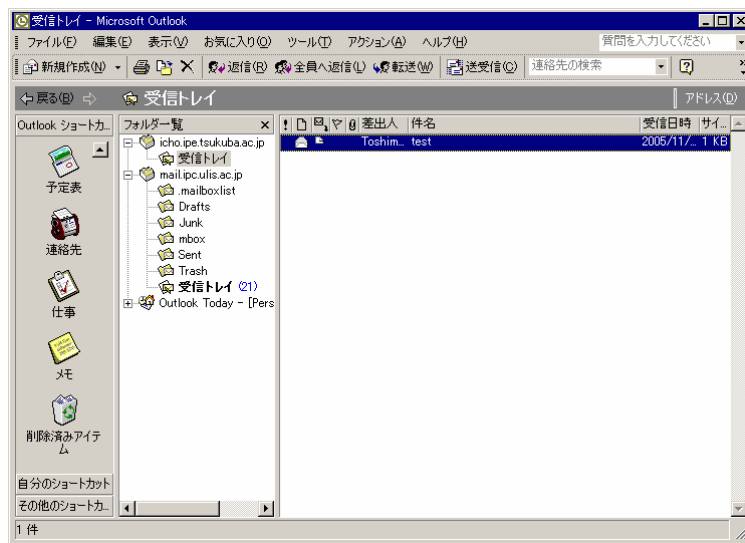
- ③ ここで必ずテストメールを送信して, 正しく教育用システム (または, そこで設定された転送先) にメールが届くかを確認する

IV. メインシステムから教育用システムへのメールフォルダのコピー

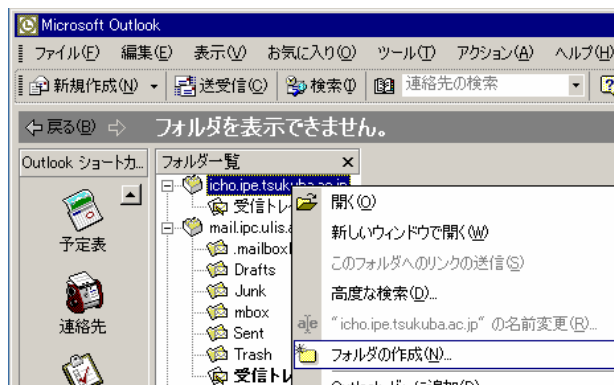
- ① toro 上で outlook を起動, 「ツール」メニューから「電子メールアカウント」を選択
- ② 「新しい電子メールアカウントの追加」を選択して「次へ」をクリック
- ③ 「追加」ボタンをクリック
- ④ 「IMAP」を選択して, 「次へ」をクリック
- ⑤ 「電子メールアドレス」に教育用システムのメールアドレスを, 「受信メールサーバ」と「送信メールサーバ」に「icho.ipe.tsukuba.ac.jp」を, 「ユーザ名」に教育用システムのユーザ名をそれぞれ入力し, 「次へ」ボタンをクリックする



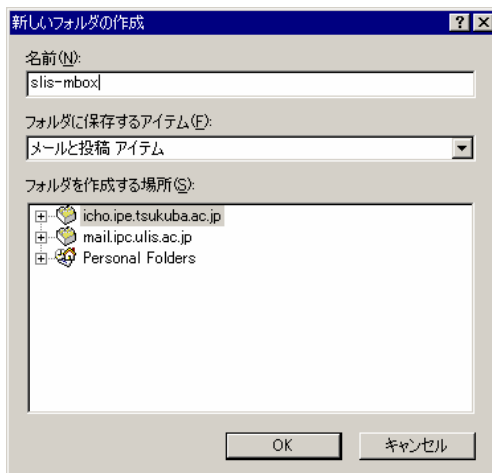
- ⑥ セットアップが完了した旨が表示されるので「完了」ボタンをクリックする
- ⑦ パスワードを確認するダイアログが表示されるので、教育用システムのパスワードを入力する。「フォルダー一覧」が表示され、メインシステムのメールフォルダ (mail.ipc.ulis.ac.jp) と教育用システムのメールフォルダ (icho.ipe.tsukuba.ac.jp) の両方が表示される



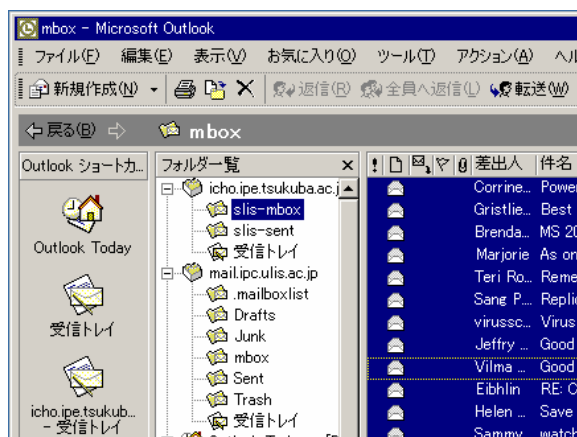
- ⑧ 「icho...」を右クリックし、「フォルダの作成」を選択する



- ⑨ 「名前」に適切なフォルダ名を入力して「OK」ボタンをクリックする



- ⑩ Outlook バーに追加するかを確認してくるので「いいえ」をクリックする
- ⑪ 「mail.ipc.ulis.ac.jp」からコピーしたいメールフォルダを開き、フォルダ内のメールを全て選択して、先に作成した icho 上のフォルダにドラッグアンドドロップで移動させる（注意：mail.ipc の「受信トレイ」と「mbox」は同じフォルダが二重に表示されているものです）



V. ユーザファイルのコピー (UNIX)

教育用システムでは Web 公開用のコンテンツはユーザのホームディレクトリの「www」というフォルダ内に置くことになっています。メインシステムの公開用ディレクトリ内の必要なファイルを、icho の「www」内にコピーしてください。コピーには scp コマンドを使います。

教育用システムでは ulisonly の機能は提供されません。各自で、ulisonly ディレクトリごとに「.htaccess」という名前の設定ファイルを作成し、133.51.0.0/19 (春日キャンパス) 以外からのアクセスに拒否を返すように設定してください。(設定ファイルの見本は次ページ)

操作例 (s0313012 は架空のユーザ名. 自分のユーザ名に置き換えて入力すること)

```
p012@uni% cd
p012@uni% scp -pr * s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp:~
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: ***** (*は実際には表示されない)
Art. INI                100% 863      0.8KB/s  00:00
Book1.xls               100% 583KB 583.0KB/s 00:00
...
univ2.csv               100% 327KB 326.6KB/s 00:00
p012@uni% cd /www/p/p012/public_html
p012@uni% scp -pr * s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp:www
s0313012@icho.ipe.tsukuba.ac.jp's password: *****
index.html              100% 863      0.8KB/s  00:00
test1.gif               100% 583KB 583.0KB/s 00:00
...
test9.gif               100% 327KB 326.6KB/s 00:00
p012@uni%
```

.htaccess の例

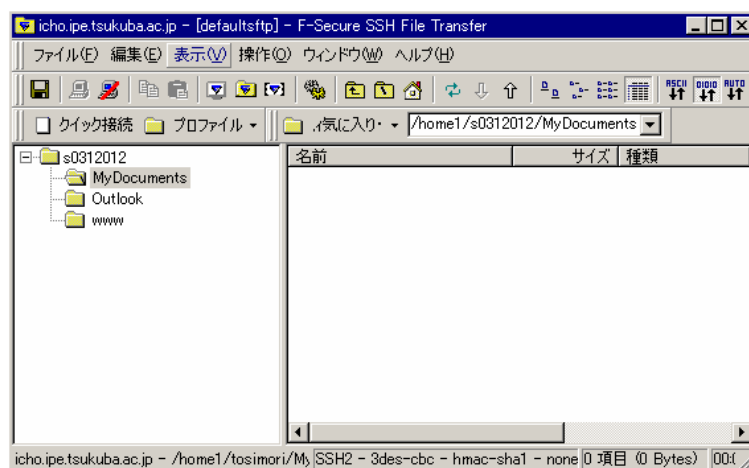
```
<Files *>
    Order deny,allow
    Deny from all
    Allow from 133.51.0.0/255.255.224.0
</Files>
```

VI. ユーザファイルのコピー (Windows)

教育用システムでは Windows のユーザファイルは、各ユーザのホームディレクトリの「MyDocuments」というフォルダ内に置くことになっています。メインシステムのマイドキュメント内の必要なファイルを、ichoの「MyDocuments」内にコピーしてください。メインシステムのデスクトップ上に置かれたファイルはマイドキュメント内の「Desktop」というフォルダに格納されています。現・教育用システムではデスクトップにユーザファイルを置くことはできません。

教育用システムのファイル容量はメールフォルダなども含めて 500MB です。本当に必要なファイルだけをコピーしないと、容量制限を超過してコピーできないことがあるので、注意してください。

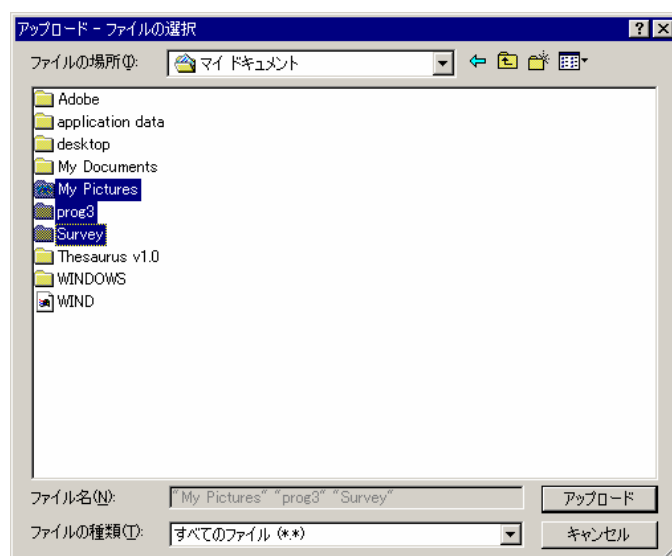
- ① スタートメニューから「プログラム」→「F-Secure SSH クライアント」→「F-Secure SSH ファイル転送」を選択する
- ② 「クイック接続」ボタンをクリックする
- ③ 「ホスト名」に「icho.ipe.tsukuba.ac.jp」、ユーザ名に教育用システムのユーザ名を入力し、「接続」ボタンをクリックする
- ④ ツールバーの右端で「自動選択 (AUTO)」アイコンが押し下げられた状態になっているので、左隣の「バイナリ (01010)」アイコンをクリックする



- ⑤ 「アップロード (↑)」 アイコンをクリックする
- ⑥ 「ファイルの場所」を「マイドキュメント」に変更し、コピーしたいファイルやフォルダを選択する。「アップロード」ボタンをクリックする

注意：Adobe, application data, My Documents, WINDOWS, WIND の各ファイル、フォルダはシステムが自動生成する設定ファイル群で教育用システムにコピーする必要はありません。

Thesaurus v1.0はCD-ROM検索でJICSTシソーラスを使用すると作成される辞書ファイル群で、容量が大きい上、教育用システムでは使用できないのでコピーしないでください。



- ⑦ アップロードが完了したら「閉じる」ボタンをクリックし、SSH ファイル転送クライアントを終了する。